

Question

この時期になると「結露」が気になります。何か対策はありますか？

Answer

住まいには結露対策の工夫も、とても重要になります。建物だけではなく身体への悪影響を防ぎ、快適な生活を保つためにも対策が必要です。普段から実践できることや対策グッズを使い、お部屋の結露を防ぎましょう。

結露は、どうしてできる？

暖かく湿気の高い室内の空気が、窓から伝わってくる外気によって冷やされて、空気中の水分が窓ガラスや壁に水滴となって付着するのが「結露」という現象です。

暖房などで暖められた室内は、窓を閉め切ることによって密閉度が高くなります。そこに生活によって発生する湿気がこもってしまうことで、結露が発生してしまうのです。

例えば、室内の温度が25℃で、湿度が50%の環境のとき、室外の気温が13.9℃になると結露が発生し始めます。

結露を防ぐためにはどうすれば良いか？

①冬は特に換気を心がける

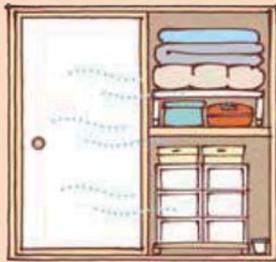
換気によって空気中の水蒸気を外へ逃がすことで結露を軽減できます。室内の湿気を含んだ空気と外の空気を入れ替えることで、湿度が高くなることを防げるのです。なるべくこまめに窓を開けて、部屋の空気を入れ換えましょう。



また、料理中や入浴中、室内干しをしているときは必ず換気扇を回しましょう。

②収納部もこまめに風を通す

開ける頻度の少ない収納部にも、換気を心がけましょう。収納部を締め切ったままにしていると、部屋との温度差ができて内部に結露が発生してしまうので、こまめに開けて換気をしてください。収納部の中には除湿剤を置くのも効果的です。



③植物や水槽を窓や壁の近くに置かない

綺麗に飾られた植物や観賞用の水槽からは、常に水分が出ています。そのため、窓や壁の近くに植物や水槽を置くと付近の湿度が上がってしまい、壁際や窓際に結露が発生しやすくなってしまいます。特に冬の間は、植物や水槽を窓や壁から離して置いて、結露の出にくい空気の流れが良い場所に設置し、頻りに換気をしてください。

④気づいたら、すぐに拭き取り乾燥させる

結露をそのままの状態にしておくと、室内の壁やサッシ枠を汚すだけではなく、溜まった水滴が木部や壁紙に垂れ、カビや腐食、ダニの発生の一歩の原因になります。結露を発見したときは、すぐに乾いた布でしっかりと拭き取りましょう。時間短縮に、窓ガラスに新聞紙を貼り付けて水分を吸収させる方法もあります。

結露によって起こるトラブル

結露を放置しておくとうるんだ壁や窓枠にカビが生えてしまいます。カビが増えるとダニも増えるという悪循環になってしまうのです。カビやダニはアレルギーや肺炎を引き起こす原因になるなど、建物への影響だけでなく、健康面へも大きな被害を与えてしまいます。

建物の腐食を早めるだけではなく、健康被害を防ぐためにも、室内の湿度を下げることを心がけてください。そして下記にて紹介する予防策と結露対策グッズを取り入れて、冬の結露を防ぎましょう。

おすすめの結露対策グッズ

室内の湿度を下げることを心がけてください。そして下記にて紹介する予防策と結露対策グッズを取り入れて、冬の結露を防ぎましょう。

●窓用クリーナー

結露を漏らさず強力にバキューム。カビの原因になる水滴を簡単に吸い取ります。2018年モデルチェンジし、結露水を貯める汚水タンクのケアが簡単に。窓ガラス、ガラス鏡などのケアにもオススメです。

商品名:ケルヒャー「窓用バキュームクリーナー」  
価格:7,538円



●サーキュレーター

結露しがちな窓に微風でも風を当てつつけるようにすることで結露発生を抑え、窓付近の空気だけが冷やされることを防ぎます。部屋の大きさ、サイズや予算によって選べるので、オススメです。

商品名:アイリスオーヤマ「サーキュレーター」  
価格:1,980~8,980円(3型12機種)



●デジタル温湿度計

風邪やインフルエンザ対策として「加湿」を過剰に行ってしまうことが結露を悪化させる主要因となっています。加湿のしすぎを避けるには、こまめに部屋の中の湿度をモニターして調節することが大切です。

商品名:サーモプロ「デジタル温湿度計」  
価格:1,179~1,680円(3種)



●マルチヒーター

窓の下を温め上昇気流を発生させることで、冷気をシャットアウトします。普段使いの暖房としても優秀です。室内外の温度差を抑制するので、窓ガラスの結露対策にもオススメです。

商品名:株式会社ゼンケン 窓下ヒーター  
90cm ZK-91  
150cm ZK-151  
価格:15,000円、20,000円



参考記事: <http://lastresort-ie.com/einfo/117> <https://agripick.com/1171>  
監修: 藤原千明

アールプラン西馬込トピア

マンションのルーフガーデンで毎年恒例の「花火鑑賞会」



多摩川の花火大会を鑑賞するため、ルーフガーデンを開放、綺麗な花火を楽しみました。



幅広い世代が参加し親睦を深めた秋の「花火鑑賞会」

都営浅草線「西馬込」駅から徒歩11分、閑静な住宅やマンションが並ぶ地域の一角に建つ「アールプラン西馬込トピア」(大田区・築12年・8階建・全51戸)。10月13日(土)に「花火鑑賞会」が開催されました。

恒例の「世田谷区たまがわ花火大会」と「川崎市制記念多摩川花火大会」が、今年から10月開催へと変更となり、それに伴ってこの鑑賞会も秋に移行しました。当日の天気予報では雨の予報が出たこともあり開催が危

ぶまりましたが、「花火鑑賞会」開始時刻には空も澄み渡り、無事開催の運びとなりました。

時間に合わせて、参加者たち(大人13名、子ども14名)は、続々とルーフガーデンに集合。なかには小中学生や高校生くらいの方の姿も見られ、子どもたちもこのイベントを楽しみにしていたことが感じられます。

17時30分になり、「花火鑑賞会」のスタートです。マンションの周囲には高い建物もなく、東京タワーや東京スカイツリーなども望めるルーフガーデンは、絶好の花火鑑賞ポイントです。この夜は参加者が持ち寄ったランタンなどによって明るく幻想的な空間へと大変身。とても開放感のある空間のなか、ちよつと珍しい夜のイベントに子どもたちは元気に走り回り、芝生の上で大はしゃぎ。一味違った花火大会の雰囲気存分に満喫していました。

多摩川を挟んで同時開催された2つの花火大会がクライマックスを迎えると、大きな打ち上げ花火をはじめ、ハート型やスマイル型などのたくさんさんの花火が次々と夜空に上がりました。鑑賞会の参加者からは「たまやー!」と興奮した掛け声上がり、秋の夜空を彩るイベントに大満足。大人も子どもも一緒に花火を楽しみました。

毎年恒例の「花火鑑賞会」は、住民同士のコミュニケーション形成の場として、また、子どもたちにとっても互いの親睦を深めるための貴重なイベントのひとつとなっています。